

水稻の生育状況と今後の管理対策（第1号）

平成30年5月31日
新潟県農林水産部

〔要約〕

コシヒカリ

- ◎ コシヒカリの茎数は指標値（生育のめやす）に比べて、「やや少」の状況です。
⇒ 1か月予報によれば気温が高く推移する可能性があります。中干（なかぼ）し*は、生育状況を見て遅れないよう開始しましょう。

こしいぶき・つきあかり・ゆきん子舞

- ◎ 5月上中旬植えで低温に遭遇した場合、茎数が少ないほ場が見られます。
⇒ 中干し開始までは、浅水管理により分けつの発生を促進しましょう。

*中干し：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

〔5月30日現在の生育〕

- コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少」、葉数の進みは「並」の状況です。
- 5月上中旬植えで低温に遭遇したこしいぶき、つきあかり、ゆきん子舞は、活着が遅れ、茎数が少ないほ場が見られます。

〔今後の生育見込み〕

- 5月24日発表の1か月予報（5月26日から6月25日まで）によると、平均気温は平年並か平年より高い見込みで、降水量も平年並か平年より多い見込みです。
- そのため、コシヒカリは茎数が急増する可能性があります。

〔当面の管理対策〕

- 中干しまでの水管理
2～3cmの浅水管理により分けつの発生を促進しましょう。
田のワキの発生が多いほ場では夜間落水を行い、根腐れや生育停滞を防止しましょう。
- 中干し・^{みぞき}溝切り
コシヒカリの中干しの適期は、茎数が目標穂数の7～8割を確保した時期（田植後30日がめやす）です。生育が過剰になりやすいほ場では、より早めの6～7割の時期（田植後25日がめやす）となります。遅れずに中干しを開始し、溝切りを行いましょう。

◎ 今後の管理対策発行予定日

6月12日・21日・29日、7月11日・20日・26日・31日、8月21日、9月12日

〔補足資料〕

1 農業普及指導センター及び作物研究センターにおける生育状況

- コシヒカリは、指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少」、葉数の進みは「並」の状況です（表1）。
- 5月上中旬植えて低温に遭遇したこしいぶき、つきあかり、ゆきん子舞は、活着が遅れ、茎数が少ないほ場が見られます（表2、表3、表4）。

(1) コシヒカリ

表1 県内全域のコシヒカリ生育調査ほ調査結果（5月30日現在）

| 項目 | 本年値 平均値 | 指標値 (県平均) | 指標値 との比較 | 指標値比・差 |
|----|---------------------|---------------------|-------------|--------|
| 草丈 | 24 cm | 23 cm | 並 | 104% |
| 茎数 | 84 本/m ² | 91 本/m ² | やや少 | 93% |
| 葉数 | 4.9 葉 | 4.9 葉 | 並 | 0.1 葉 |

注) 県内全域の生育調査ほデータの平均値

(2) こしいぶき、つきあかり、ゆきん子舞

～長岡市に設置した調査ほでは、田植え直後に低温に遭遇したため活着が遅れ、茎数は指標値に比べ少ない～

表2 こしいぶきの生育(調査日：5月30日)

| 項目 | 本年値 | 指標値 | 指標値 との比較 | 指標値比・差 |
|----|---------------------|----------------------|-------------|--------|
| 草丈 | 22cm | 22 cm | 並 | 102% |
| 茎数 | 93 本/m ² | 107 本/m ² | 少 | 86% |
| 葉数 | 5.2 葉 | 5.3 葉 | 並 | -0.1 葉 |

注1) 化成肥料栽培。田植え5月11日、栽植密度は19.6株/m²

注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

表3 つきあかりの生育(調査日:5月30日)

| 項目 | 本年値 | 指標値 | 指標値との比較 | 指標値比・差 |
|----|---------------------|----------------------|---------|--------|
| 草丈 | 28cm | 26 cm | やや長 | 108% |
| 茎数 | 93 本/m ² | 110 本/m ² | 少 | 85% |
| 葉数 | 5.5 葉 | 5.5 葉 | 並 | 0.0 葉 |

注1) 化成肥料栽培。田植え5月8日、栽植密度は21.2株/m²

注2) 基肥窒素成分量 7.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町(作物研究センター)の生育調査ほデータ

表4 ゆきん子舞の生育調査ほ調査結果(5月30日現在)

| 項目 | 本年値 | 指標値 | 指標値との比較 | 指標値比・差 |
|----|----------------------|----------------------|---------|--------|
| 草丈 | 28 cm | 26 cm | やや長 | 108% |
| 茎数 | 132 本/m ² | 180 本/m ² | 少 | 73% |
| 葉数 | 6.0 葉 | 6.0 葉 | 並 | 0.0 葉 |

注1) 化成肥料栽培。田植え5月1日、栽植密度は18.6株/m²

注2) 基肥窒素成分量 1.68kg/10a(前作枝豆)

注3) 長岡市高野町の生育調査ほデータ

2 ちりよぐ 地力窒素の発現状況

- 移植日からの日平均地温は平年より約 0.3℃高く、期間窒素発現は化学肥料区、堆肥区ともに平年より多くなっています（表 5、図 1、図 2）。

表 5 地力窒素の発現状況（農総研基盤研究部調査） (mgN/100g)

| 調査日 | | 5月10日 ① | 5月29日 ② | 地力窒素発現量 ^{※1} (③=②-①) |
|-------|----|------------|------------|----------------------------------|
| 化学肥料区 | 本年 | 3.2 | 4.5 | 1.4 |
| | 前年 | 3.1 | 3.9 | 0.7 |
| | 平年 | 2.3 | 2.8 | 0.5 |
| 堆肥施用区 | 本年 | 3.2 | 4.6 | 1.4 |
| | 前年 | 3.5 | 4.9 | 1.4 |
| | 平年 | 2.7 | 3.4 | 0.8 |

※1 小数点3ケタ目の四捨五入の関係で、表中の数値の引き算と合わない場合がある。

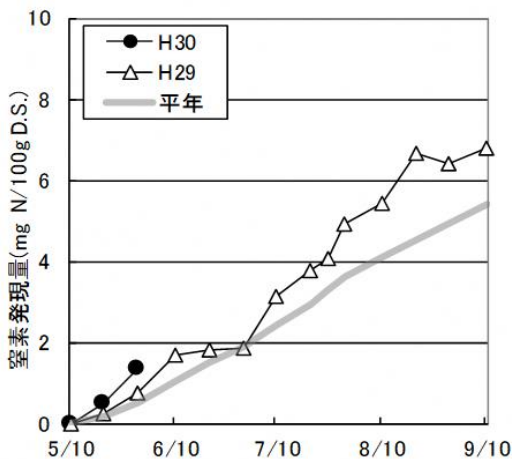


図 1 地力窒素の発現推移
(化肥区；初期値を0とした)

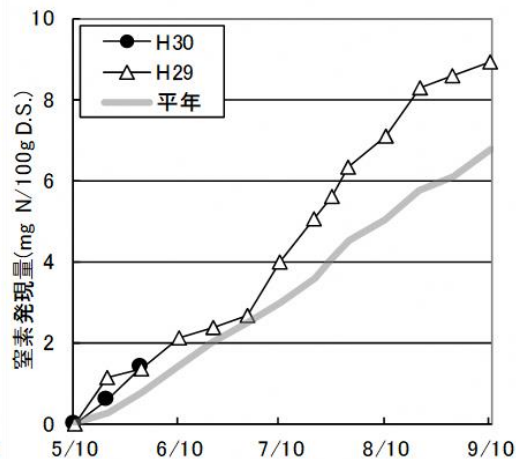


図 2 地力窒素の発現推移
(堆肥区；初期値を0とした)

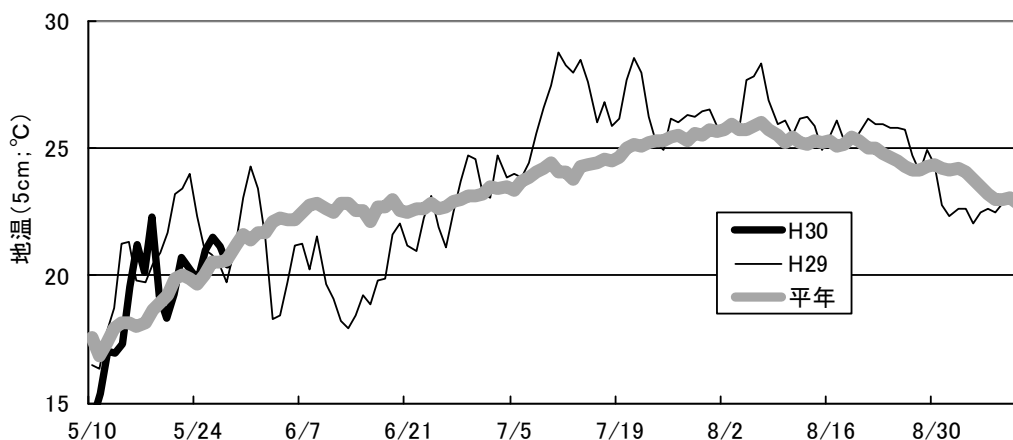


図 3 地温 (5cm) の推移